

# 委員会行政視察報告

## 総務企画常任委員会 ※7月4日(水)～6日(金)九州地方

### ①福岡県八女市 『予約型乗合タクシー ふる里タクシー』

全国的に先進事例となっている八女市の「ふる里タクシー」は、電話予約によるドアツードア方式の乗り合いタクシーで、広大な山間地に加え、高齢化が進む地域で、地域公共交通の維持・確保を図るため、このシステムを導入したことで市内に点在していた交通空白地域の解消を図っている。予約システムを導入したことで、スムーズな運行ができ、住民もこの事業を利用して、病院や買い物へ行くのに大いに役立っている。



福岡県八女市視察

### ②福岡県久留米市 『生活支援交通 よりみちバス』

平成16年からコミュニティバス、コミュニティタクシー、デマンド型タクシーなど、公共交通空白地における市民の日常生活支援策として、様々な問題を抱えながらいろんな取り組みを行ってきた。現在は、生活支援交通『よりみちバス』といった利用者のニーズに応じた形での迂回型コミュニティバスを導入している。市民に利用しやすい形態をこれまでも模索してきたなかで、現在の形になったが、まだまだ料金設定や地域との連携など課題は残っている現状である。

### ③佐賀県鳥栖市 『まちづくり推進協議会』

鳥栖市では、みんなで築く市民協働のまちづくりを推進するにあたり、市民参加のまちづくりを目指すための「鳥栖市まちづくり検討委員会」を設置し、平成22年に市長に地域づくりのあり方に関する提言を行い、現在8地区の協議会が設立されている。取り組みが進んでいる協議会もあれば、あまり進んでいないところもある。七尾市においても地域づくり協議会が始まったばかり。「自分たちの地域は自分たちで何とかする」という取り組みが各地域づくり協議会で進められることを期待する。

## 教育民生常任委員会 ※7月30日(月)～8月1日(水)関西地方

### ①大阪府箕面市 『箕面市立病院の経営改善』

箕面市立病院は、経営改善に取り組み、一般財源からの繰入金ゼロを実現し、黒字及び独立採算の運営をめざしている。地域医療「かかりつけ医」と定期的に連絡会を持ち、情報を共有する仕組みを作り上げ、連携を密にしていることから、紹介率、逆紹介率が非常に高く、地域医療に貢献している。

### ②京都府宇治市 『小学校の余裕教室を活用した老人福祉施設の整備』

宇治市は、児童数の昭和40年代の急激な増加と、昭和57年から昭和61年をピークにした減少により、小学校の余裕教室をデイサービスセンターなどに転用している。同じ敷地にあることは、施設にとっては、高齢者の活力・エネルギーにつながり、小学校にとっては、日常的に子供たちがプログラムを考え楽しみながら交流することができ、子ども自身にプラスになるなど、相乗効果がある。



京都府宇治市視察

### ③大阪府茨木市 『学校業務の改善、学校給食費の公会計制度導入』

学校業務の改善では、市内の公立学校へのアンケート分析を行い、「業務サポーターの配置」など教育委員会として9項目の取り組みを行い、学校組織の取り組み、教員一人一人の意識改革も合わせて平成29年度から三年計画で取り組んでいる。1年目の結果では、「子どもと向き合う時間が十分取れている」などの効果が上がっている。

また、学校給食の公会計制度導入では、段階的なシステム導入を行い、給食費の徴収を市で一括して行っているほか、「歳出予算として食材購入費を予算計上できる」「アレルギー等の対応ができる」など効果がある。

## 産業建設常任委員会 ※7月26日(木)～28日(土)関東地方

### ①埼玉県朝霞市 『空き店舗対策(朝霞市TMO推進事業)』

市役所通りの空き店舗を活用し、来街客や買い物客等が自由に出入りでき、憩いの場となる場を開設し、中心市街地の利便性や快適性を高める。特色として、朝霞市商工会が空き店舗を活用し、元気な高齢者等の憩いの場所とし「地域支え合いの仕組み」を実施するとともに、お休み処として、地元のおやつや地域ブランド品等の展示販売を行い商店街の活性化を図る取り組みであった。

### ②埼玉県川越市 『川越版DMO設立に向けた取り組み』

平成28年1月に「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、そのプロジェクトの中で「おもてなし川越」の創設として、川越市における観光の現状や課題の分析、観光関連組織へのヒアリング、川越版DMOの組織概要の検討をするなど設立に向け取り組んでいる。その他、課題施策への取り組みとして、官民でのワーキンググループによる取り組みを進めている。